

広次

ひろつぐ
忠彦

通信

No. 176

2007年6月5日

日本共産党大分市議団

ごみ収集などで申し入れ

プラスチックが 家にあふれちよる

4月から始まったゴミの12分別。分別方法などの問い合わせが、担当課にあいついでいます。私どもにも「プラち書いちよらんのは、どげすらいいんかい」「プラスチックは月に2回しかとりにこない。たまってこまる」など、分別収集の仕方や改善の声が寄せられています。



プラ収集回数を増やせ

わが党議員団は、5月31日、①生産段階からリサイクルができる制度を国に要求すること、②12分別の理解していただくための説明会を積極的に開くこと、③分別が困難な高齢者などへの支援策をとること、④プラスチックの収集回数をふやすこと、事業系ゴミへの対策をとることなどを、市長あてに申し入れました。

要望を受け

検討している(副市長)

応対した磯崎副市長は、「収集事業者の機材確保の対応など、年度途中からの変更には課題がある。検討はしている」と回答しました。

長寿祝金の支給拡大を

市議団は、70歳以上に支給されていた敬老年金の役割の重要性を訴え、現在節目支給されている長寿祝金を、寝たきりの高齢者など、段階的にでも拡大するように申し入れました。

「車が来たら落ちそう」 堤栄三県議と現地調査

「車が来たら落ちそうになる。何とかしてほしい」との要望が寄せられました。さっそく堤栄三県議といっしょに現地調査をしました。県道大分大野線と交差する付近で、非常に交通量の多いところ。地元自治会などからも、県土木事務所へ要望が



だされています。ところが改修の計画は、いまだに決まっていません。事故があつてからでは遅すぎます。一日も早い改修を求めて、要望活動や、交渉などをすすめていきまします。ご協力をお願いします。

活動トピックス

5月26日

『米軍再編反対シンポジウム in 岩国』に参加しました。米軍のグアム移転を含めた再編のための費用3兆円。日本がなぜ負担する必要があるのでしょうか。沖縄の負担軽減で日出生台での米軍演習、しかし沖縄の演習は減っていません。今度も沖縄の負担軽減といわれますが、アメリカに奉仕するだけのものではないでしょうか。



(写真は1月28日、大矢野原演習場への米軍移転反対行動)

※3月・4月・5月5日付『広次通信』は、事情により発行できませんでした。今後は定期発行に心がけてまいります。ご意見やご要望もお寄せください。お知り合いの方に広げていただければ幸いです。(広次)